



▲南部ふれあい祭りが開催されました
3月15日、南部ふれあい会館で「南部ふれあい祭り」が開催され、大勢の人が来場しました。多目的ホールでは器楽の演奏や合唱、ヨガなどが披露され、展示室と音楽室には写真や木版画、絵手紙、書道などが展示されたほか、茶道の体験もありました。**【福島 順一】**



▲災害復旧には地元の力が不可欠
3月15日、市役所で市社会福祉協議会主催の「災害ボランティア講座」があり、市内で昨年発生した自然災害の事例や防災情報のネット活用方法などの講演が行われました。参加者が災害復旧活動の体験を話したり、災害伝言板サービスを携帯電話で試したりするなど、会場は臨場感にあふれていました。**【馬場 正勝】**



▲大空に舞う「日米友好の懸け橋」大だこ
3月28日、上深谷の深和会（比留川義昭会長）の大だこ揚げが厚木基地内で開催されました。同基地内の家族や関係者が大勢見物に集まり、3枚のたこが大空に舞い揚げると、一斉に拍手と歓声が沸き上がりました。**【福島 順一】**



▲つぼみ
3月中旬、城山公園の春めき桜（足柄桜）がふっくらとかわいいつぼみをつけていました。この桜は、18年に開催した城山桜まつりで植樹されたもので、まだ若い木です。この日は公園内を行き交う人もなく、静かに春の到来を告げていました。**【高橋 元】**



▲春らんまんの蟹ヶ谷公園
3月26日、蟹ヶ谷公園では花が咲き、小鳥がさえずり、まさに春らんまんの季節を迎えていました。満開のレンギョウとコブシの花を、ヒヨドリが食べていました。ヒヨドリは何でも食べるのですが、ちょっと珍しい光景でした。**【情報提供・段木 武さん（綾西）】**



▲春の芽吹き
桜の便りがあちらこちらから届き始めた3月下旬、地下茎から野草が芽吹きました。野草天国となる楽しい季節に、ムサシアブミの淡い芽吹きに出合いました。蓼川地区で。**【大滝 隆司】**

**災害時に資機材供給
建機レンタル会社と協定締結**

4月13日、建機レンタル事業を行う(株)アクティオ（小沼光雄代表取締役社長）と「災害時等における応急対策資機材の供給に関する協定」を締結しました。災害の被害状況や発生時期などに応じて、同社から必要な資機材を調達できるようになり、防災力が高まります。
図防災対策課☎70・5641。

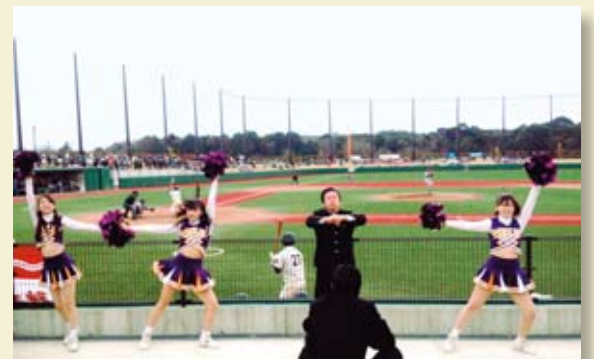




署名記事は広報まちかど特派員から



▲春を告げる河津桜
3月8日、市役所議会棟横にある河津桜が見事に花を咲かせていました。昨年3月、市東北県人会連合会（早坂裕行会長）の皆さんが、東日本大震災で被害に遭った方への思いを託して植えた河津桜です。がんばれ東北！**【秋元 謙治】**



▲熱戦！「無敵の明治」と「陸の王者慶応」
1925年に始まった東京六大学野球。綾瀬スポーツ公園の開園5周年記念の招待試合として3月29日、明治大学対慶応大学の伝統の一戦が同公園内の硬式野球場で行われました。明治大学の善波達也監督は、綾北中学校出身です。**【秋元 謙治】**



「まち特」始動
4月9日、市役所で広報まちかど特派員委嘱式を行いました。同特派員は、地域の催しなどを取材しますので、撮影などに協力をお願いします。特派員への取材希望は秘書広報課☎70・5606まで連絡してください（取材できない場合もあります）。